仮説と検証09

プロテスタントとカトリックの違いがよく分かりはなかったので
基本的なことが知れてよかった。
また、渋沢栄一はプロテスタントであることが分かった。

ぜひ、覚えておきましょう！西洋のことを理解するための、一つの基本知識ですし、大学のことは自分たちのことですから。

ところで、今日の授業のプロテスタンが、カトリックより高所得なのはなぜかという質問について、Aはこれでいいとして、財産と関係づけるのはちがう気がする
→ 所得はあってもカトリックの人が単に金づかいがあらいかのうせいもあるから

面白い観点ですね！しかし、稼げなかったら禁欲的にお金を貯めても、やっぱり、稼いでいる人の方がお金が溜まりそうですね。

まさに、それが強調したいところです。センメルヴェイスを責めた人々のことは残念に思いますが、私たちの中には、そういったところがあります。そして、錯覚のように「それがわかっていてもそう思ってしまう」という傾向がありそうです。それに気づくところから始めましょう！Liberal Arts！

センメルヴェイスの話の時はそのような不合理が明らかになっているのに暴力をいった行動をしてしまうなんて!!と思っていたが、
アリエリーの包帯の話は看護師の考えに同意してしまった。
見逃しなことをよく見るとこういった不合理さがあり、分かっていても不合理な行動をしてしまうことを実感した。 Good! 自分のこととして考

また、アリエリーの実体験は分かりやすい例えであったが、実際には患者のリクエストが届くか否かの間には、看護師の仕事を効率化するためのマニュアルに従っていてそもそも変える選択肢など無いようにも考えられた。Good! 新しい道を選ぶことへの恐怖も、協調性を感じられ、大変適応的で良い選択に思えてしまう。 心理学を学んでいます

今回の授業を聞いていて「疑うこと」の大切さを改めて学んだ。自分は直感的に正しいと思っていても、それは間違っていることがある。違う道を選ぶ勇気はかなり必要だけど、自分の直感だよりにするば

特に人が人に対応するとき、何が良い選択であるのか、よく考える必要がありそうです。「選択の科学」のお話をしたいと思います。

反証可能で
ポパーの「反　明ができなければ科学と言えない」という言葉が今日とても心に残った。
高校の理科の実験を思い出したからだ。理論通りに行くと思っていたのに、
毎回少しずつ誤差が出て、その外の理由を考える事が大事だと先生に
言われた経験がある。 いい先生です!! 科学は完璧な答えを出すのではなくて、
間違いから修正する事なんだと考えた。彼の主張は、厳しい基準だけど、
そのおかげで前進していると思う。でもその一方で、価値観や生き方のよ

日々の膨大なデータによって常に検証され続けていて、まちがえたとしても、
予測→検証→修正というプロセスを行っているゆえにより気象学も立派な科学であると言えると考える。 よい観点です。 先生はカチンとくると仰っていたので気象学も科学であるという立場だと推察しますが、どのような理由でそう考えていますか？ 個人的には気象学の基礎になることを対象としています。気象学といってもいろいろです。

何人かの学生さんが、同様の指摘をしてくれました。つまり、気象学については天気予報という形で常に検証されているのではないか、だから反証可能ではないのではないか、ということです。

「反証可能」については、やや駆け足で説明が足りなかったかもしれません。「その説は間違っているのだ」という方法が無いのであれば、科学と言えないのではないか、という指摘です。そこで、本質的に1回しか生じないような現象に対しては、根本的な困難があると考えられます。